

SSKR



にじの会だより

Vol.89

社会福祉法人 にじの会

理事長 石崎 優仁

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 1-6-3

TEL 0422-39-2411

FAX 0422-39-2412

ホームページ: nijinokai.org

第15回にじの会公開講座報告

日中活動支援の実践

～これからの障害者の自己実現に向けて～

2024年1月26日（金）に大沢にじの里にて、4年ぶりに第15回公開講座を開催しました。従来の公開講座と違い、日中活動の見学をしていただき、その後見学では伝えきれない部分について動画で紹介し質疑応答という流れで行いました。

当日はお天気に恵まれ、晴天のもとご家族約15名、一般の方約20名の方が参加されました。見学開始前に参加者の皆さんにダイニングにて見学会の流れを説明し、約1時間の見学が始まりました。

工房えがおでは機能低下防止プログラム、音楽室ではきずな工房の利用者が音楽活動、工房たいようでも音楽活動、仲喜工房では運動、せいびグループは洗濯・館内清掃、美術室では個別美術、園芸グループは作業場でおから堆肥の作業や園芸活動、未来工房にじでは工房ごとの作業を行いました。見学中も参加者の皆さんから活発な質問がありました。

見学終了後は参加者の皆さんが集まり、ダイニングにて動画によるICT・PT機能低下防止・各支援専門（音楽・運動・美術）の紹介と質疑応答がおこなわれました。活発なやり取りが見られにじの会の日中活動の内容への関心の高さが感じられました。

講座後の来場者アンケートでは、「利用者が楽しそうに参加しているのが何よりも良かった」「コロナ禍で見学自体が出来ない状況だったので、貴重だった」「機能低下防止プログラムが参考になる」「どの活動も利用者に寄り添う姿勢が感じられた」「専門職が充実している」等の主催者側として嬉しいご意見を多く頂きました。最後にお忙しい中、見学していただきましたご家族及び参加者の皆様に感謝申し上げます。次回のにじの会公開講座は3年後の予定ですが、また多くの方にご参加いただけますよう努力してまいります。（研修委員長 佐藤智観）

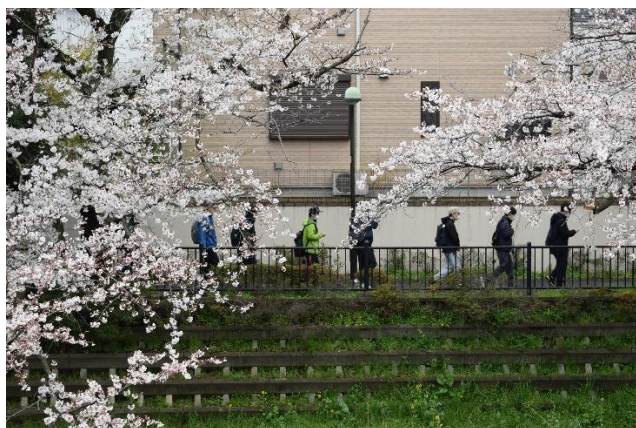


第10回ウォーキング大会

4月5日（金）野川公園にて「第10回にじの会ウォーキング大会」を開催しました。当日、朝まで雨が降っておりましたが、出発する頃には無事に雨も上がり、予定通り開催することができました。また、例年は桜も散った頃の開催となっておりましたが、今年は例年に比べて桜の開花も遅く、満開の桜の下、楽しいイベントで新年度の良いスタートを切ることができました。

昨年度4月までは、感染症対策のため3か所に分散しての開催としておりましたが、11月のウォーク&スポーツ大会からは、野川公園に全員が集まるかたちで開催しています。大沢生活介護、にじアート、未来工房の利用者とスタッフが一堂に会し、普段、接することのない方々の交流が生まれ、どの工房でも利用者の笑顔が溢れる充実した時間となりました。今年度も利用者の皆さんが健康で楽しい毎日を過ごすことができるよう、安全で楽しい運動活動やイベントの企画を行っていききたいと思います。

（支援専門運動：高橋祥亮）



<ご家族との連携状況>

第87回施設家族連絡会

3月23日（土）午後2時より三鷹産業プラザにおいて第87回施設家族連絡会を開催いたしました。当日は69名と多数のご家族の参加があり、会場はにぎやかな雰囲気になりました。

『全体会』では、2024年度の基本方針と重点課題、予算と年間活動スケジュール、各事業部門と各委員会の事業計画をご説明し、2023年度実施の第三者評価結果の報告、後援会活動報告が行われ、メモを取るなど皆様熱心にお聞きになっていました。

生活施設利用者のご家族には『生活懇談会』にも参加いただき、各事業所の事業計画をご説明したのち、質疑、自己紹介や近況報告なども行われ、終始和やかな懇談の場となりました。

連絡会終了後も事業所ごとにご家族が歓談される場面も見られ、ご家族同士の交流の場にもなっている様子が見られました。今後も利用者への寄添う支援を続け、またご家族との連携がより深まるよう取り組んで参りますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（橘 純一）



2024年度個別支援計画検討会議

2023年度個別支援計画総括と2024年度個別支援計画検討会議が、3月に利用者本人、家族、担当スタッフの参加にて開催されました。今年は対面での参加が多くありました。

参加される利用者の方は、今年の計画について、今までのコロナ禍にて、社会参加の機会が減ったり、実現できなかつたりした経験から、今年度は外食や旅行などを大いに期待をもって「こんな事がしたい。」と希望を伝えていました。

ご家族の方は、総括にて担当スタッフより昨年度の振り返りを聞き、今年度計画について普段見られにくい利用者本人の声に熱心に耳を傾けていました。

また、担当スタッフは動画や写真で日頃の様子を詳しく伝えようと工夫をしていました。総括書面からは読み取れない利用者の表情や様子などを動画等で確認でき、利用者さんが楽しく活動できている様子を本人、ご家族で確認し合える良い機会となりました。

2024年度は今まで通り感染予防に努めながら、昨年度より一層社会参加を積極的に進めて参りたいと思います。

（田中克樹）

2024年度の基本方針と重点課題

にじの会理事会

4年前からの新型コロナウイルスは昨年5月に5類感染症に移行となりましたが、インフルエンザを含めて様々な感染症が継続的に発生しており、引続き感染症対策を採りながらの事業運営が必要と思われます。

温暖化による地球環境の悪化と地震災害の増加の中で、ウクライナ・パレスチナでの戦火による破壊が人類の危機を拓けていますが、持続可能な共生社会を目指すSDGsの必要性は一層強まっています。

また日本では少子化の進行で人手不足が深刻化し、特に福祉業界の採用難が著しくなっています。働く環境の改善と業務の省力化の必要性が高まっております。

そのような厳しい状況の中ですが、昨年度設定した「2030年のにじの会のあり方」＝中期計画に基づき、SDGsに資する法人運営、障害者の権利実現に向けた取り組み、にじの会組織力の向上を中心に、以下のような「2024年度の基本方針と重点課題」を設定します。

<環境への対応の基本方針>

1, SDGsに資するにじの会の運営をすすめる。

重点課題

①地球環境悪化への取り組み

- ・省エネ・CO2削減の取組（特に送迎車両のEV化推進で非常時電源確保も図る）
- ・循環型社会への取組（食品ロス削減・おから等の再資源化・ゴミ削減等）
- ・緑化活動の推進等

②感染症・震災等自然災害・犯罪等への対策の強化

- ・新型コロナ等の感染症対応力の維持向上
- ・震災・風水害時の対応力の強化（特に震災時のBCP・福祉避難所機能の強化）
- ・犯罪（侵入・情報漏洩・虐待等）対応力の強化

③地域の共生社会化への取組

- ・地域貢献事業（高齢者向け送迎事業・子供食堂支援事業等）の継続
- ・三鷹社協中心の社福ネットワーク事業での展開（フードバンク等）

<障害者支援の基本方針>

2, 障害者の権利実現への支援と地域生活ニーズへの対応をすすめる。

重点課題

①利用者支援の基本「寄り添う支援」の充実

- ・意思決定支援・社会参加支援・ICT活用のコミュニケーション支援の充実
- ・生活の質の向上（入所利用者の利用サービスの拡大・余暇や食事の向上）
- ・音楽・美術・運動の専門活動の充実
- ・日中活動等の支援環境の再構築

②利用者・家族の高齢化への対応

- ・各専門家や高齢化対策プロジェクトによる機能低下防止の取組み・認知症対応の強化
- ・相談支援事業を中心とした高齢利用者の介護保険施設等利用の推進（見学やニーズの適正化等）
- ・高齢家族の介護保険サービス利用・成年後見制度利用の推進による利用者の権利擁護

③重度障害者増加への対応

- ・生活介護事業所増設に向けた地域ニーズの把握

- ・強度行動障害支援者養成研修等外部研修も積極的に活用し支援力の向上
- ④自治体の障害者施策への対応
 - ・地域生活支援拠点事業への具体的な取り組み
 - 短期入所：体験機会・緊急時受入れ等への対応
 - 相談支援：緊急時支援計画の作成と必要な相談業務、基幹型との連携
- ⑤生活施設確保への取組
 - ・新規生活の場(グループホーム)増設に向けたニーズ把握・調査
 - ・生活施設利用基準内容の必要な更新
 - ・ホーム重度利用者の資金余剰等の不均衡の改善に向けた自治体等への提言
- ⑥就労支援事業充実の取組
 - ・A型・B型・移行の各事業の特性に応じた連携と協力の強化
 - ・利用者主体の事業運営とA型の黒字継続、B型・移行の収支改善
- ⑦障害児支援内容の確立
 - ・サービスを必要とする重度利用児への効果的な支援の実施と実践の蓄積
 - ・支援専門と連携して専門活動の提供
- ⑧相談支援事業の強化の取組み
 - ・高齢化対応始めとした連携強化、地域生活支援拠点等による地域生活支援の強化

＜組織運営の基本方針＞

3. にじの会組織力（法人・事業運営組織体制）の向上を図る。

重点課題

- ①今後の法人組織の確立
 - ・業務執行理事・常務理事による実務運営体制の確立 -常務理事を選任し新体制を始動
 - ・常務会・経営会議による集団指導力の強化
 - ・理事会、評議員会による法定事項の適正な決定と外部との共同の推進
- ②事業組織体制と各事業組織・部門の人材確保
 - ・主体的な事業組織体制の強化と運営しやすい組織づくり
 - ・職員間、事業所間の連携とコミュニケーションの強化
 - ・生活支援スタッフの安定的確保
 - ・ジョブトライアル制度による弾力的な異動や体験機会提供
- ③人事制度の向上
 - ・働きやすい労働環境と女性職員の活躍の推進
 - ・採用力の向上とエルダー・メンター制度の定着
 - ・研修の充実と人権擁護や支援技術等による職員育成力の向上
- ④業務改善とIT化の推進
 - ・業務システム、ICTを活用した業務の効率化
 - ・ペーパーレス化の推進
 - ・情報セキュリティーの向上
- ⑤事業収支・経営内容の改善支援力の向上
 - ・事業収支管理力の向上（管理職）
 - ・光熱費等インフレへの対応力向上（管理職）
 - ・経営支援力の向上（業務部門）
- ⑥家族・後援会との連携の方向性
 - ・後援会との連携

2024年度 利用者・職員計画

(事業)	(利用者数)	(職員数)
生活支援事業	89名	58名
日中支援事業	107名	54名
就労支援事業	60名	19名
児童・業務等	7名	22名
(計)	174名	153名

中期計画内容説明3 『にじの会組織力の向上』-1

① 今後の法人組織の確立

<業務執行理事・常務理事による実務運営体制の確立>

業務執行理事による運営は定着しましたが、今後さらに常務理事を選任し、新しい法人組織作りを進めます。役員研修で理論を学習するとともに規程に基づき、権限と責任を明確にして運営していきます。(諏訪 拓)

<常務会・経営会議による集団指導力の強化>

次世代の経営メンバー育成のため、理事長によるトップダウンの意思決定から常務会・経営会議でのチームによる意思決定への移行を進めます。重要な問題については、複数の選択肢を複数の視点から議論し理解を深め十分に問題を検討した上で意思決定します。

現時点では、常務理事は不在ですが2024年度中には選任し常務会を発足させる予定です。一方、経営会議は現在毎月1回開催されており、重要な情報の共有や、重要事項の意思決定が行われています。そこでは心理的安全性の確保が図られ、議論の活性化が進んでいます。(八十岡芳一)

<理事会、評議員会による法定事項の適正な決定と外部との共同の推進>

法人の重要な経営判断は理事会、評議員会にて様々な立場の方への事業報告・意見交換を活発に行ったうえで検討し、決定します。

評議員会では採用の課題から高齢化への対応等様々な意見交換が行われています。今後も地域ニーズを反映した共同を進めていきます。(諏訪 拓)

②事業組織体制と各事業組織・部門の人材確保

<事業組織体制の強化>

各事業、各部門での課題はそれぞれ違います。法人の方針に沿いながら自部署の課題に対して自ら考え、事業、部門ごとに取り組むことが必要になってきています。各部門の主任会議を定例化し、その部門の体制、人材確保等の課題にスタッフ全員が主体的に取り組んでいけるようにします。(諏訪 拓)

<各事業組織の課題と解決への取組>

収支改善が必要な事業は黒字化を目指します。就労支援事業は利用者主体の生産体制を実施することで黒字化を継続していきます。解決への取組みでは各事業組織の課題や問題に関してそれぞれの内容に応じた相談窓口を明確にし、解決に繋がります。現在にじの会では様々な働き方に関する相談窓口（産休・育休、介護休業、病欠等）、スタッフ向けいろいろ相談、お困りごとシー

ト、精神科医の面談等様々な相談ができる仕組みがあります。ただ実際の相談件数は少ない状況ですのでもっと気軽に相談しやすい雰囲気を作っていきます。（諏訪 拓）

＜各事業組織・部門の体制と人材確保＞

各事業所間における弾力的且つ柔軟な異動は、職員自身の支援の幅が広がるため、キャリア構築で大変重要となります。昨年度には、各事業所への体験勤務の機会を制度化（ジョブトライアル制度）し、様々な事業所や部署の支援経験を定期的実施しながら、安定的な職員育成を目指しています。特に、生活支援を担当できる職員を安定的に確保していくことが必要であることと、近年、人材確保に関する目まぐるしい採用動向の変化に対応出来るように、安定的に人材確保していくことも必要となります。そのために、今年度より実施する基本給のベースアップを始め、合同就職説明会への積極的な出展や見学者や各実習生などへの対応、その他様々なアイデアを通して、効果的な職員採用確保へ向けた取り組みを推進していきます。（新津健朗）

③人事制度の向上

＜働きやすい労働環境の推進・女性活躍の推進＞

私たちの最重要課題の一つが働き手の確保です。その対策として大きく二つ採用と定着とがあります。そのうち後者の職員定着を図るための施策として、職員の適性或様々なライフステージ等に対応できる多様な制度や取組を準備し、職員が長く働き続けられる環境を作っていきます。そのことで各職員が長期にわたって能力を高め発揮し続けることができるものと考えています。ひいては4割以上を占める女性職員のさらなる活躍につながることも期待されます。

これらの制度や取組の企画と実施、及び各種制度に関する情報提供は人事制度担当チームが中心になって進めます。また、研修委員会との連携を通じて職員育成にもつなげます。

（八十岡芳一）

＜採用力の向上とエルダー制度の定着＞

新卒・中途にかかわらず採用力の向上は喫緊の課題です。採用活動では、給与水準の大幅アップが難しい中、情報発信力の向上がカギとなります。例えば、SNS・ホームページ等を使った情報発信や、新卒採用にあっては大学、実習生とのパイプ作りなどです。このような対策を継続して改善・実施することで採用力の向上につなげます。これら採用に係る課題には、採用担当チームが中心になって対応します。

また、もう一方のエルダー制度。これは複線型キャリアコースの一つで、職員の高齢化に対応した制度です。一定の年齢に達したマネージャー職等の経験者がこの制度を選択すれば管理業務から離れ支援等の実務専任の働き方ができるというものです。経験を生かした働き方やライフスタイルに合った働き方が可能になり職員の定着と戦力アップにつながることを期待されます。この制度の積極的活用を図ります。（八十岡芳一）

＜研修の充実と職員育成力の向上＞

所内研修の内容をより必要な研修を設定して広く学べるようにします。介助方法など実践型の研修とビデオや教材を使って自分で主体的に学べる研修を設定します。また、資格取得を目的にした研修や強度行動障害、高齢化対策などの専門的な研修に参加して学べるように、外部研修や内部研修の機会を増やします。

また、働くことに必要な職員のメンタルヘルス・ハラスメント対策・健康管理に関する研修会の定期開催、研修に参加できなかったスタッフが後で研修を受けられるように、各研修内容のICT化の推進をしていきます。（田中克樹）

2024年度の年間スケジュール

2024年度の行事等の予定は以下の通りです。

◆行事予定

- | | |
|-----------------|----------|
| ① 4月 5日（金） | ウォーキング大会 |
| ② 10月26日（土） | にじの会まつり |
| ③ 11月22日（金） | スポーツ大会 |
| ④ 12月20日（金） | クリスマス会 |
| ⑤ 1月10日（金） | 20歳を祝う会 |
| ⑥ 3月5日（水）～9日（日） | 美術展 |



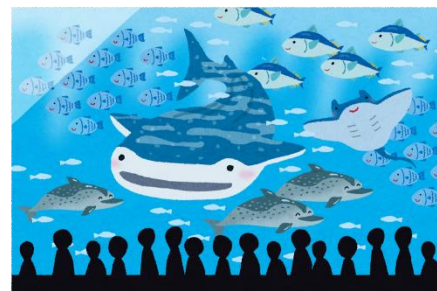
◆宿泊旅行

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 4月25日（木）～26日（金） | 千葉 鴨川シーワールド |
| ② 5月23日（木）～24日（金） | 千葉 デイズニーランド |
| ③ 6月13日（木）～14日（金） | 静岡（時之栖）サファリと忍びの里 |
| ④ 6月20日（木）～21日（金） | 福島 スパリゾートハワイアンズ |



◆日帰り旅行

- | | |
|------------|----------------|
| ① 4月19日（金） | 神奈川 八景島シーパラダイス |
| ② 9月27日（金） | 山梨 フルーツ狩り |



◆帰省・休業期間

- | | |
|----------------------|------|
| ① 4月29日（月）～5月 5日（日） | 5月連休 |
| ② 8月12日（月）～8月18日（日） | 夏休み |
| ③ 12月29日（日）～1月 4日（土） | 正月帰省 |

◆施設家族連絡会

- | | |
|------------|------------|
| ① 9月21日（土） | 全体会（生活懇談会） |
| ② 3月22日（土） | 全体会（生活懇談会） |

*日中参観はリモート動画での参観とします。



『にじの会だより 89号』 定価 50円

発行所：特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102号

TEL:03-6277-9611 FAX:03-6277-9555

編集人：社会福祉法人にじの会

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 1-6-3 TEL：0422-39-2411 FAX：0422-39-2412